

介護療養病床等における入所者の実態に関する調査研究  
医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査【介護保険施設】  
【研究要旨】

## I. 目的

本調査は、介護保険三施設（介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設）の利用者の状態像や医療処置の実施状況等について、共通の尺度を用いて横断的に把握することにより、医療と介護の連携に係る検討に資するデータを収集・分析することを目的として実施したものである。

なお、本調査は「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」の介護保険施設部分である。「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」は、長期入院患者の多い医療保険適用病床等（一般病床の一部、医療療養病棟等）と介護保険三施設（介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設）の利用者について横断的な調査を実施したものである。本報告書では、このうちの介護保険施設部分の調査結果について記載する。なお、一部の集計結果については、参考として医療保険適用の療養病床（以下「医療療養病床」という。）の調査結果を併記している。

## II. 対象・方法

### 1. 調査対象

本調査では、介護療養型医療施設については全数（2,227施設）、介護老人保健施設、介護老人福祉施設についてはそれぞれ2,000施設を無作為抽出して調査対象施設とした。

### 2. 調査基準日

平成22年6月23日（水）

### 3. 調査の構成等

調査対象施設の概況について調査する「施設特性調査」と、調査対象施設の入院患者/入所者のうち無作為に3分の1抽出した者の状態像を個別に調査する「患者特性調査/入所者特性調査」の二種類の調査を実施した。

## III. 調査結果の概要

### 1. 回収状況

図表1 回収状況

調査対象施設	発送数 ①	回収数		回収率 ②÷①
		施設票 ②	患者票等	
介護療養型医療施設（病院）	1,597件	951件	18,539人分	59.5%
介護療養型医療施設（診療所）	630件	211件	752人分	33.5%
介護老人保健施設	2,000件	1,036件	29,272人分	51.8%
介護老人福祉施設	2,000件	1,024件	24,111人分	51.2%
【参考】医療療養病床	3,933件	1,890件	33,020人分	48.1%

## 2. 施設の概況

### (1) 定員数、入所者数、職員数

平均定員数、入所者数は図表2のとおりであった。また、職員配置を施設種別にみると、介護療養型医療施設、介護老人保健施設（介護療養型）、介護老人保健施設（従来型）、介護老人福祉施設の順に医療スタッフ（医師、看護職員）の配置が手厚くなっている一方で、介護老人保健施設（従来型）や介護老人福祉施設では介護職員の配置が手厚くなっていた。

図表2 定員数、入所者数、50床当たり職員数

	施設数	許可病床数 ・定員	入院患者数 ・入所者数	50床当たり職員数		
				医師	看護職員	看護補助者 ・介護職員
介護療養型医療施設	792件	54.3床	51.7人	1.8人	11.4人	14.6人
介護老人保健施設	介護療養型	26件	47.0床	1.2人	10.6人	13.9人
	従来型	896件	91.8床	0.6人	5.8人	17.3人
介護老人福祉施設	882件	68.5床	67.7人	0.3人	3.2人	24.2人
【参考】医療療養病床	1,341件	56.2床	52.5人	2.0人	13.9人	13.5人

### (2) 全く受け入れていない患者/入所者の状態像

図表3 全く受け入れていない患者・入所者の状態像【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数	932件	211件	30件	1,006件	1,024件
気管切開をしている	22.6%	41.7%	26.7%	62.3%	74.4%
中心静脈栄養をしている	37.6%	37.9%	53.3%	83.9%	83.3%
経鼻経管栄養をしている	1.7%	7.1%	13.3%	37.6%	33.5%
胃ろう・腸ろうをしている	1.3%	10.0%	0.0%	8.3%	5.6%
インスリンを投与している	3.8%	5.7%	6.7%	8.8%	16.1%
酸素療法をしている	11.5%	14.7%	16.7%	39.0%	23.1%
人工透析をしている	84.1%	89.6%	80.0%	78.0%	72.5%
人工呼吸器をつけている	78.0%	81.0%	76.7%	89.1%	89.0%
喀痰吸引の必要がある	1.7%	4.7%	3.3%	7.9%	8.9%
重度の褥瘡がある	12.4%	12.8%	6.7%	28.2%	14.6%
感染症（MRSA、緑膿菌など）がある	8.7%	20.9%	26.7%	15.2%	15.5%
重度の認知症（徘徊を含む）の状態にある	33.0%	44.1%	30.0%	11.4%	3.4%
重篤な合併症を併発している	44.0%	46.9%	56.7%	62.7%	56.6%
当該施設での看取りを希望する	2.8%	4.3%	10.0%	29.2%	9.9%
家族や身元引受人がない	23.0%	28.4%	13.3%	32.6%	14.5%
その他	1.5%	0.5%	3.3%	1.5%	0.8%

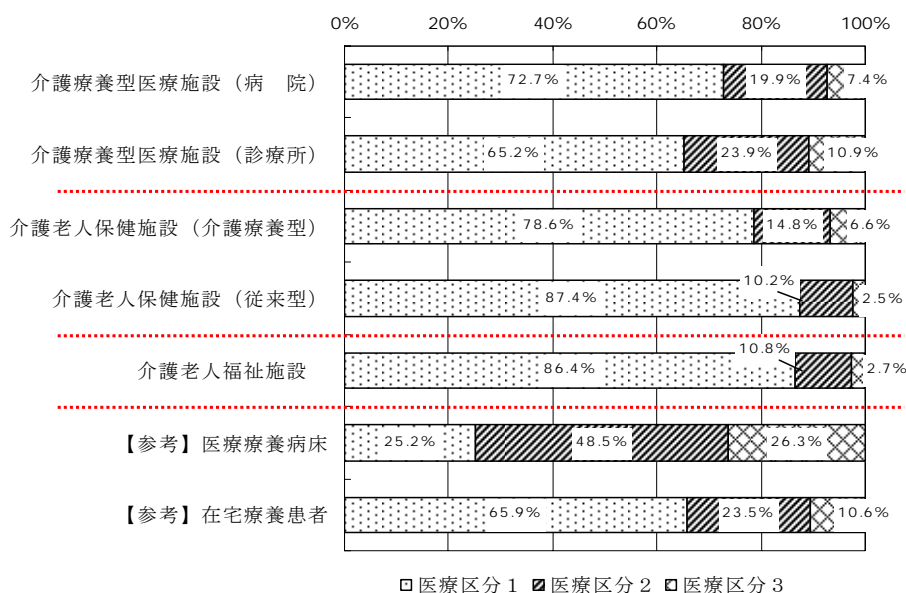
「人工透析をしている」「人工呼吸器をつけている」がいずれの施設種別においても7～8割程度に達していた。介護老人保健施設（従来型）、介護老人福祉施設で受け入れていない割合が他の施設種別よりも高いものとしては、「気管切開」「中心静脈栄養」等があげられた。また、「重度の認知症（徘徊を含む）」については、介護老人保健施設（従来型）や介護老人福祉施設よりも、介護療養型医療施設や介護老人保健施設（介護療養型）で受け入れていない割合が高くなっていた。

### 3. 患者/入所者の状態像

#### (1) 医療区分、要介護度

介護保険施設の患者・入所者の医療区分の構成割合をみると、図表4のとおり、介護療養型医療施設（病院）と介護老人保健施設（介護療養型）では医療区分1の患者・入所者が75%程度を占め、介護老人保健施設（従来型）と介護老人福祉施設では医療区分1が87%程度であった。平均要介護度は、介護療養型医療施設（病院）4.4、介護療養型医療施設（診療所）4.1、介護老人保健施設（介護療養型）4.1、介護老人保健施設（従来型）3.3、介護老人福祉施設3.9であった。

図表4 医療区分



#### (2) 医療の提供状況

図表5 医療の提供状況【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
中心静脈栄養を実施している状態	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	6.9%
人工呼吸器を使用している状態（1日5時間以上）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
気管切開又は気管内挿管が行われている状態	1.7%	1.5%	3.0%	0.1%	0.1%	11.0%
酸素療法を実施している状態	2.8%	2.1%	2.2%	0.5%	0.8%	15.2%
喀痰吸引を実施している状態	18.5%	14.2%	13.8%	2.5%	4.4%	31.8%
経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態	36.9%	29.5%	34.5%	7.6%	10.9%	31.5%

医療の提供状況等についてみると（図表5）、介護療養型医療施設、介護老人保健施設（介護療養型）では、「経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態」、「喀痰吸引を実施している状態」の割合が他の施設種別よりも高くなっていた。一方、介護老人福祉施設ではほぼ全ての項目で医療の提供状況等の割合は低くなっていたが、「経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態」は10%を超えていた。

#### 4. 今後の生活・療養の場の見通し

患者等の病状を踏まえた上で、医療と介護の必要度から、施設側が最も適切と考える今後の療養先については、介護老人保健施設（従来型）を除く全ての施設種別において、「現在の場所が適切」が最も多かった。介護老人保健施設（従来型）の入所者については、「介護老人福祉施設が適切」40.6%が最も多く、次いで「現在の場所（介護老人保健施設）が適切」29.0%「自宅が適切」16.0%の順となった。

図表6 最も適切と考えられる生活・療養の場

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
自宅（家族等との同居も含む）	5.5%	8.2%	15.2%	16.0%	2.0%	11.3%
介護老人福祉施設	17.2%	14.1%	17.4%	40.6%	89.4%	9.0%
介護老人保健施設	7.1%	5.6%	<u>50.9%</u>	<u>29.0%</u>	0.8%	7.6%
その他の介護施設	2.1%	2.1%	1.0%	5.1%	0.6%	2.5%
一般病棟	0.7%	1.2%	0.0%	0.4%	0.6%	1.2%
医療療養病棟	7.9%	5.5%	6.2%	2.8%	1.4%	<u>57.3%</u>
介護療養型医療施設	<u>57.9%</u>	<u>61.6%</u>	7.2%	4.2%	1.4%	8.6%
その他の病棟	0.3%	0.7%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%
その他	0.1%	0.3%	1.2%	0.2%	0.1%	0.6%
無回答	1.2%	0.8%	0.6%	1.4%	3.5%	1.5%

注：下線部は、各施設における「現在の場所」を示す。

今後の生活・療養の場に関する本人の希望についてみると、介護老人保健施設（従来型）を除く全ての施設種別において「意思表示不能」と「希望は把握していない」の合計が5割を超えた。本人が「現在の場所での療養を希望」する割合は、介護老人福祉施設、介護療養型医療施設（診療所）で30%程度であり、他の施設種別では20%程度であった。本人が「自宅での療養を希望」する割合は、介護老人保健施設（従来型）で23.7%、他の施設種別においては10%程度であった。

家族の希望についてみると、全ての施設種別において「現在の場所での療養を希望」する割合が高く、特に介護療養型医療施設（診療所）、介護老人福祉施設では8割を超えた。介護老人保健施設（従来型）においては、「介護老人福祉施設」での療養を希望するのが29.8%と、他の施設種別に比し高かった。いずれの施設種別においても「現在の場所での療養を希望」に次いで「介護老人福祉施設」を希望する割合が高く、退院/退所後は介護老人福祉施設に入所したいと考える家族が多いことがうかがわれた。なお、家族が「自宅での療養を希望する割合」は介護老人保健施設（従来型）では6.5%であったが、他の施設種別においては5%に満たなかった。

以上